

都市再生整備計画 事後評価シート
福山駅周辺地区

令和6年3月

広島県福山市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	広島県	市町村名	福山市	地区名	福山駅周辺地区			面積	238ha
交付期間	2018年度(平成30年度)～2022年度(令和4年度)	事後評価実施時期	2023年度(令和5年度)	交付対象事業費	884.2百万円	国費率	0.469		

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名						
	基幹事業	なし							
	提案事業	なし							
	当初計画から削除した事業		事業名		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響	
	基幹事業	なし							
	提案事業	なし							
新たに追加した事業	基幹事業	福山城鏡檜等夜間景観照明整備事業、景観重要建造物(福山城天守)等外観修景整備、ばら公園外2公園整備事業、丸之内3号線美装化事業、本庄中西町幹線等歩道美装化事業、公共空間等活用促進事業(福山駅周辺エリア)	本市の歴史・文化資源である福山城及びその周辺の環境整備を行い、魅力や回遊性の向上を図る。			事業追加に伴い指標3を追加した。			
	提案事業	福山市立地適正化計画改定事業	福山市立地適正化計画へ防災指針の記載、また、具体的な誘導施策の記載に関する検討を行うために追加した。			影響なし。			
交付期間の変更	当初	2018年度(平成30年度)～2020年度(令和2年度)	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		交付期間の2年延伸に伴い、目標を定量化する指標2のリノベーション事業化件数を9件から15件に、新規雇用者数を108人から180人に変更した。				
	変更	2018年度(平成30年度)～2022年度(令和4年度)							

2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
指標1	福山駅前の地価公示価格	千円	485	2017年度(平成29年度)	485以上	2022年度(令和4年度)	520	530	○	あり なし	福山駅周辺デザイン計画を策定し、リノベーションまちづくりや駅前再開発事業など官民が連携し、ウォーカブルなまちづくりに取り組むことによりエリア価値が向上し、地価公示価格の上昇につながったと考えられる。	
指標2	リノベーション事業化件数及び新規雇用者数	件、人	—	2017年度(平成29年度)	(事業化件数)15 (新規雇用者数)180	2022年度(令和4年度)	(事業化件数)22 (新規雇用者数)183		○	あり なし	まちづくりへの思いのある方を対象に、リノベーション先駆者のレクチャーやアドバイスを受けられるリノベーションスクールを定期的に開催したことにより、目標達成に至った。	
指標3	福山駅周辺の流動客数	人	(平日)72,279 (休日)88,325	2017年度(平成29年度)	(平日)80,830 (休日)92,520	2022年度(令和4年度)	(平日)62,168 (休日)73,895		×	あり なし ●	ウォーカブルなまちづくりの取り組みにより、従前値と比較して増加した地点も見られるものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、目標達成には至らなかった。	

3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
その他の数値指標1	福山城博物館の入館者数	人	7,586(月平均)	2017年度(平成29年度)				16,550(月平均)			まちづくりの核である福山城の再整備、福山城の景観に配慮した道路の美装化など、エリアの回遊性を高める事業を実施したため	

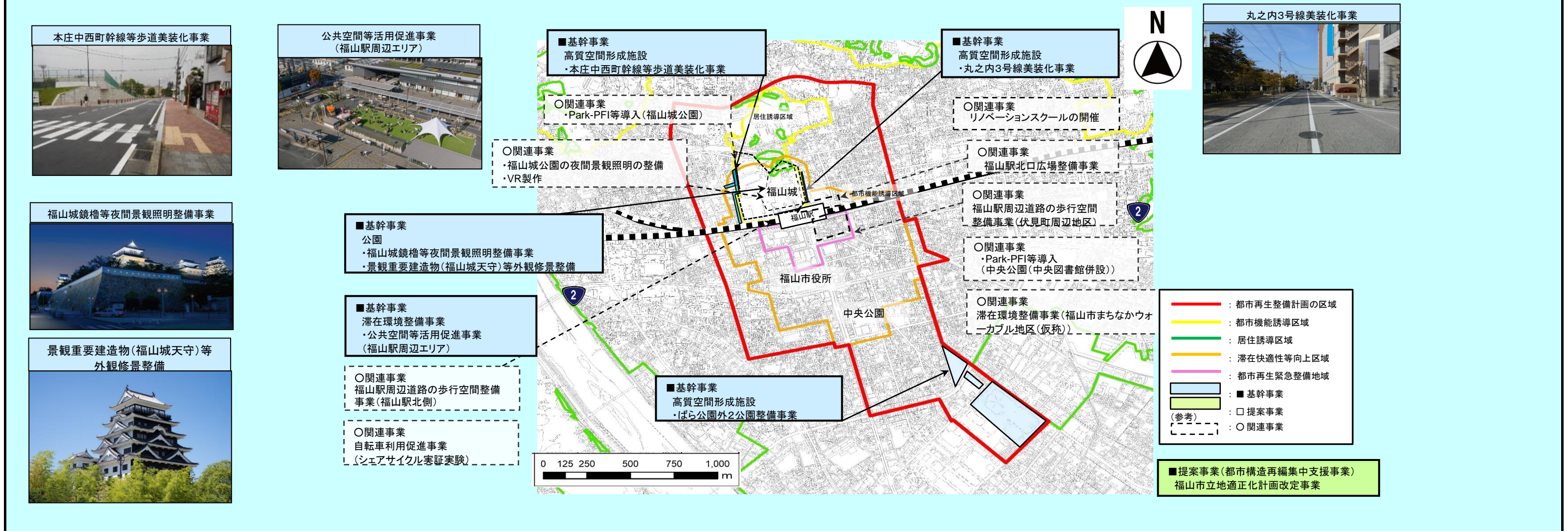
4) 定性的な効果発現状況
 ・まちづくりの核となる福山城の夜間景観照明整備、天守外外観修景整備を行い、周辺の道路を美装化することにより魅力や回遊性が向上した。
 ・福山駅周辺デザイン計画を策定し、居心地が良く歩きたくなるまちづくりを目指し、官民が連携して事業に取り組んでいる。

5)実施過程の評価	実施内容		実施状況		今後の対応方針等
モニタリング	福山駅前の地価公示価格	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●		
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			
官民連携による取組	福山駅前デザイン会議	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	今後も継続的に開催し、ライフスタイルの変化やプロジェクトの進捗など社会情勢の変化に柔軟かつスピーディーに対応し、デザイン計画の見直しを重ねながら深化させていく。	
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			
持続的なまちづくり体制の構築	都市再生推進法人の指定	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	まちづくり会社が主体で行う事業について、行政的な後方支援を行う。	
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			

様式2-2 地区の概要

福山駅周辺地区(広島県福山市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標名	単位	2017年度 (平成29年度)	2022年度 (令和4年度)	2017年度 (平成29年度)	2022年度 (令和4年度)	2017年度 (平成29年度)	2022年度 (令和4年度)
大目標:備後都市圏の拠点として、人を惹きつける中心市街地の創造 目標1:福山駅前の再生に向け、既存の低未利用不動産や公共空間を活用し、新たな賑わいや魅力を創出する。 目標2:中心市街地の魅力を高めることにより、福山駅を中心に歩行者の回遊性を高め賑わいを再生する。	福山駅前の地価公示価格	単位:千円	485	485以上	530	2022年度 (令和4年度)	530	2022年度 (令和4年度)
	リノベーション事業化件数及び新規雇用者数	単位:件,人	-	(事業化件数)15 (新規雇用者数)180	(事業化件数)22 (新規雇用者数)183	2022年度 (令和4年度)	(事業化件数)22 (新規雇用者数)183	2022年度 (令和4年度)
	福山駅周辺の流動客数	単位:人	(平日) 72,279 (休日) 88,325	(平日) 80,830 (休日) 92,520	(平日) 62,168 (休日) 73,895	2022年度 (令和4年度)	(平日) 62,168 (休日) 73,895	2022年度 (令和4年度)
		単位:						
		単位:						



まちの課題の変化

- 福山駅周辺では、大型商業施設の閉店をはじめ、商業機能が低下していたが、官民が連携して魅力とにぎわいの創出を図る活動の動きが起きている。
- 中心市街地の歩行者の回遊性を高める取組として、まちづくりの核である福山城博物館の再整備を行い、入館者数が倍増した。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- 福山駅周辺デザイン計画を推進するための民間と行政が連携した福山駅前デザイン会議を継続的に行い、公共空間の新たな活用によりエリア価値を高め、にぎわいの創出に取り組む。
- 2025年(令和7年)に開催予定の世界バラ会議福山大会を契機として、ばらの魅力を発信し、福山駅を中心として中央公園、ばら公園の環境整備を行い、回遊性の向上に取り組む。